資料 20

内閣府青年国際交流事業の外部効果について

（国際交流に携わる人の数）

内閣府青年国際交流事業の実施に当たっては、参加青年以外に、日本国内での受入及び訪問国でのプログラムにおいて、約１１０００人が関わり、国際交流を経験したり、国際交流プログラムの企画・運営を行ったりしている。

東南アジア青年の船	：	約６０００人
世界青年の船	：	約１７００人
日本・中国青年親善交流	：	約　７００人
日本・韓国青年親善交流	：	約　７００人
国際青年育成交流	：	約１１００人
コアリーダー育成プログラム		約　８００人

合計　約１１,０００人

東南アジア青年の船

<日本>

中央プログラム　ユースリーダーズサミット

		実行委員　　７０人
		ローカルユース　１００人
		一般来場者　　１５０人
地方プログラム	ホストファミリー	約５０人×１１＝５５０人
	実行委員	１５人×１１＝１６５人
	ローカルユース 及び学校関係	約３０人×１１＝３３０人
課題別視察	受入関係者	約２０人×８　＝１６０人
		合計　１５５０人

<ＡＳＥＡＮ寄港地５か国>

ホームステイプログラム ホストファミリー	１家庭４人×１６０家庭＝６４０人
課題別受入関係者	２０人×８＝１６０人
受入実行委員及び政府関係	１００人
	合計９００人
	９００×５か国＝４５００人

合計　約６０００人

世界青年の船

<日本>

中央プログラム	都内視察	３人×１０＝３０人
	課題別視察	２０×５＝１００人
地方プログラム		
ホームステイ（１家庭３人）		２０×３×５＝３００人
実行委員		１０×５人＝５０人
寄港地プログラム		
ローカルユース		５０×３＝１５０人
実行委員		１５人×３＝４５人
課題別		２０×５×３＝３００人
		合計９７５人

<訪問国>

ホームステイ	２２×３×５＝３３０人
課題別	２０×２×５＝２００人
ローカルユース	２０×５＝１００人
受入実行委員	２０×５＝１００人
	合計７３０人

合計　約１７００人

日本・中国青年親善交流、日本・韓国青年親善交流

<派遣>

地元交流青年	大学生ディスカッション	３０人
	学校訪問交流	５０人
ホームステイ		２５×４人（１家庭）＝１００人
課題別		２０×８か所＝１６０人
		合計　３４０人

<招へい>

事業別交流又は日韓青年の集い	３０人
課題別（都内）	２０×５＝１００人
地方訪問先	２０×５＝１００人
ホームステイ	２５×３＝７５人
実行委員会	１０×３＝３０人
交流会議	１５人
	合計　３５０人

合計　約７００人

国際青年育成交流事業　参加者数

<招へい>

都内

視察	４人×４＝１６人
交流会議実行委員会	２０人
課題別	２０×３×２回＝１２０人

地方

ディスカッション実行委員会	１０×２＝２０人
参加者	１５×２＝３０人
訪問先	２０×３×２＝１２０人
ホームステイ	２４×２か所×３人＝１４４人
実行委員会	１０×２＝２０人

合計　約５００人

<派遣>

地元青年との合宿	２０人×４＝８０人
訪問先にて	１０人×１０か所×４＝４００人
ホームステイ	１０×４人×４＝１６０人

合計　６４０人

合計　約１１００人

青年社会活動コアリーダー育成プログラム

<派遣>

訪問先対応	１０人×８か所×３＝２４０人
ホームステイ	３人×９人×３か月＝８１人
	合計　３２１人

<招へい>

東京

課題別		１０人×２×３＝６０人
ＮＰＯマネジメント	実行委員会	２５人
	参加者	４０人
地方　訪問先		１０人×４×３県　１２０人
セミナー		２０人×３県＝６０人
実行委員会		１５×３県＝４５人
ホームステイ		１３×３×３＝１１７人
		合計　４６７人

合計　約８００人